

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成23年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成24年8月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	
1 医療サービス	20
2 医療の質の向上	34
3 患者サービス	46
4 法令遵守と情報公開	54
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 運営組織	56
2 収支改善	58
3 人事・給与	68
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の確立	70
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院に向けた取組み	74
2 福岡市民病院の経営改善の推進	76
〈参考資料〉	
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	80
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	82

はじめに

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成23年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員 長	尾 形 裕 也	九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 教授
副委員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
委 員	津 田 泰 夫	福岡逡信病院 院長
	丸 山 眞 紀 子	福岡県看護協会 副会長
	吉 水 宏	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

平成23年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」と判断した。

この大項目評価の結果を踏まえ、特に、平成23年度は、地方独立行政法人制度の特長を活かし、理事長を中心に両病院と本部事務局が一体となった経営体制を構築するなど、経営管理の徹底が図られたことや、両病院において着実に医療機能の高度化や地域の医療機関との連携強化に取り組み、結果として、平成22年度の実績を上回る医業収益を確保するなど、経営に係る目標値を達成したことから、平成23年度の業務実績は「全体として中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

地方独立行政法人化に伴い、病院経営に係る権限が大幅に移譲されたところであるが、法人化2年目である平成23年度は、柔軟な職員採用や多様な契約手法の導入などの地方独立行政法人制度の特長を活かし、また、理事長、院長をはじめ職員一丸となつての努力の結果、さらに効率的・効果的な病院経営体制が構築されるに至っている。

また、年度計画に基づき、着実に医療機能の高度化と提供するサービスの向上を図るため、人材確保が困難な中において、大学病院への積極的なアプローチ等によって医師の確保を図るとともに、看護師や医療技術職等についても、採算性を確保したうえでの増員を行って組織の強化・充実を図っている。

こども病院・感染症センターについては、「地域周産期母子医療センター」として、地域の産科及び小児科と連携のうえ、周産期に係る高度医療を担い、福岡市民病院についても、「地域医療支援病院」として、地域医療に貢献するとともに、4疾病への対応を中心とした高度専門医療の充実や高度救急医療における循環器系疾患への対応強化を進めるなど、さらなる向上を図っている。

こうした取組みの結果、両病院ともに診療単価が上昇し、患者数の増加と相まって平成22年度の実績を上回る医業収益を確保しており、診療材料等の調達にかかる価格交渉の徹底などによる費用削減の取組み効果と合わせて収支もさらに向上し、経営に係る目標値を達成している。

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	28		11	17			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	5	13		11	2			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	1	2		2				A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4		2	2			A 計画どおり進んでいる
合計	22	47		26	21			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取組みや特色ある取組み〉

地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めながら、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供している。

こども病院・感染症センターについては、小児医療の基幹病院として、小児医療(高度・地域・救急)のさらなる充実を図るとともに、他の医療機関からの紹介患者を適切に受入れ、症状が安定した患者については、積極的に地域の医療機関へ逆紹介するなど医療連携の強化に努めている。また、医師・看護師をはじめ、医療ソーシャルワーカー等を増員し、診療体制・看護体制のほか、相談機能の強化・充実を図るとともに、「地域周産期母子医療センター」(平成23年4月認定)として、その役割を踏まえながら周産期医療のより一層の充実に取り組んでいる。

福岡市民病院については、平成23年4月に「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関とのさらなる連携強化に努めたことにより、逆紹介率が目標値を上回るとともに、オープンカンファレンス等への参加者の拡大を図っている。また、医療法で定められた医療計画における4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の充実を努め、救急医療についても脳卒中センターの機能強化や平成23年度から新たにCCU(冠動脈疾患集中治療室)4床を設置し、循環器系疾患への対応強化を図っている。さらに、外来部門を臓器別・疾患別の6つのセンターに再編し、チーム医療による良質な医療の提供を実践している。

〈特筆すべき取組み〉

増収対策として、こども病院・感染症センターにおいては、看護師の必要数を確保し、小児入院医療管理料1の全病棟適用を維持するとともに、手術室の効率的な運用による手術件数の増加を図っている。福岡市民病院においては、地域の医療機関との連携強化による紹介率の向上や救急搬送件数、新規入院患者数及び手術件数等の増加、CCU4床の開設等により増収を図っている。

また、費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や委託契約の見直しによる複数年契約の導入、ジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

この結果、両病院ともに、平成22年度の実績を上回る医業収益を確保し、費用削減の取組みと合わせ、経営に係る平成23年度の目標値を達成している。

特に、福岡市民病院については、中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組み、医業収支が、病院開設以来初の黒字化を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

評価にあたっての意見、指摘等

良質な医療の実践の面で、福岡市民病院が肝臓がんや脳卒中、脊椎といった分野において、市内でも有数の治療実績を上げるに至るなど、高度専門医療への取組みが高く評価される。

医療費のクレジットカード支払について検討、準備を短期間で行い、平成24年度当初から導入できたことは評価したい。

なお、病院経営にあたっては、診療報酬の改定など医療環境の変化に即した戦略的な企画立案により、さらなる経営改善を推進することが必要であり、今後、効率的なベッド・コントロールを行うための権限を持たせた専属のポスト設置など検討していただきたい。

現在のこども病院・感染症センターの老朽化・狭隘化が顕著となる中で、新たに「地域周産期母子医療センター」として周産期に係る高度医療に取り組まれていることは、評価に値するが、将来に渡って優秀な医師等を確保する観点からも、一日でも早い新病院の開院に向け努力していただきたい。

最後に、地方独立行政法人制度の特長を最大限に活かし、理事長を中心に職員が一丸となって経営改善に取り組んでおり、その成果及び努力を高く評価したい。

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

「地域医療への貢献と医療連携の推進」「災害時等の対応」「診療体制の強化・充実」「病院スタッフの確保と教育・研修」「ボランティアとの共働」の項目において、目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進んで いる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮し た 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 医療サービス	5	13		4	9		
2 医療の質の向上	4	8		6	2		
3 患者サービス	4	6		1	5		
4 法令遵守と情報公開	1	1			1		
合 計	14	28		11	17		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ 福岡市民病院

地域医療支援病院として、地域医療機関との連携強化に努めたことにより、逆紹介率が、目標値及び22年度実績値を上回るとともに、オープンカンファレンスへの参加者数などが目標値を上回る成果をあげていることから、「評価4」とした。

1-(3) 災害時等の対応

災害発生時に適切な対応が行えるよう体制等の整備に万全を期すとともに、マニュアルの整備や各種防災訓練を積極的に実施した。また、東日本大震災に当たっては医療チーム等の派遣を迅速に行ったことから、「評価4」とした。

2-(1) 診療体制の強化・充実 イ 福岡市民病院

外来部門のセンター化による専門性の高いチーム医療の実践や、病棟看護助手など医療スタッフの増員、公益社団法人日本看護協会が認定する認定看護師・認定看護管理者(以下「認定看護師等」という。)の育成など年度計画に従って目標を達成するとともに、着実に成果を上げているこ

とから、「評価4」とした。

2-(2) 病院スタッフの確保と教育・研修

人材確保が困難な中において、年度計画に従って概ね目標が達成されるとともに、短時間勤務の雇用制度創設など働きやすい環境づくりの推進や、認定看護師等資格取得支援制度の活用等による教育・研修体制の充実が図られていることから、「評価4」とした。

2-(3) 信頼される医療

服薬指導や栄養食事指導、クリニカルパス適用率の全ての項目において年度計画の目標値を上回っており、着実に成果をあげていることから、「評価4」とした。

3-(2) ボランティアとの共働 ア こども病院・感染症センター

積極的にボランティアの受入れを行い、クリスマス・イルミネーションの実施や職員とボランティアとの共同作業による新たな事業にも取り組んだことから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・肝臓がんや脳卒中、脊椎といった分野において、市内でも有数の治療実績を上げるに至るなど、高度専門医療への取り組みが高く評価される。
- ・医療費のクレジットカード支払について検討、準備を短期間で行い、平成24年度当初から導入できたことは評価したい。

(2) 小項目評価 別紙のとおり

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

看護体制の充実や手術件数の増加等による大幅な増収や、徹底した費用削減を図ったことにより、目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある
------	-------------------	-----------------	---------------------	--------------	--------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 運営組織	1	2			2		
2 収支改善	3	9		9			
3 人事・給与	1	2		2			
合計	5	13		11	2		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

2-(1) 増収 (こども病院・感染症センター)

看護体制の充実や手術件数の増加等により、医業収益において、平成22年度を上回る増収を達成したことから、「評価4」とした。

2-(1) 増収 (福岡市民病院)

新規入院患者数、救急搬送件数、手術件数の増加及び入院診療単価の上昇などにより、医業収益において、平成22年度を上回る増収を達成したことから、「評価4」とした。

2-(2) 費用削減

職員の増員や高度医療の提供による診療材料費の増などによる費用増加の要素はあるものの、多様な契約手法の導入などによる徹底した費用削減が図られたことから、「評価4」とした。

3 人事・給与

医師の人事評価制度を導入するとともに、給与費対医業収益比率が年度計画の目標値を上回るなど、着実に成果をあげていることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・今後の病院経営にあたっては効率的なベッド・コントロールが必要であり、権限を持たせた専属のポスト設置を検討すべきである。

(2) 小項目評価 別紙のとおり

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

経営管理の徹底による効率的・効果的な経営を行うことにより、両病院及び法人全体としても目標を上回る収支改善となっており、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進んで いる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮し た 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 経営基盤の確立	1	2		2			
合 計	1	2		2			

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

経営基盤の確立

法人本部における「経営会議」において、月ごとの経営状況を検証するとともに、各病院においても院内幹部による運営委員会等において経営管理を徹底することにより、経営に係る目標値を上回る成果をあげていることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

・地方独立行政法人制度の特長を最大限に活かし、理事長を中心に職員が一丸となって経営改善に取り組んでおり、その成果及び努力を高く評価したい。

(2) 小項目評価 別紙のとおり

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新病院に向けた取組みについては、開院に向けた準備を着実に進めるとともに、福岡市民病院については、医業収支を黒字化するなど、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗状況にある	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべき事項がある
------	-------------------	-----------------	---------------------	--------------	--------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3~5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 新病院に向けた取組み	1	2			2		
2 福岡市民病院の経営改善の推進	1	2		2			
合 計	2	4		2	2		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価
2 福岡市民病院の経営改善の推進
質の高い医療の提供による増収を図るとともに、徹底した費用削減に努めた結果、開院後初となる医業収支の黒字化を達成するなど、経営改善の取組みが着実に進んでいることから、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項
特になし。

評価にあたっての意見, 指摘等

・現在のこども病院・感染症センターの老朽化・狭隘化が顕著となる中で、新たに「地域周産期母子医療センター」として周産期に係る高度医療に取り組まれていることは、評価に値するが、将来に渡って優秀な医師等を確保する観点からも、一日でも早い新病院の開院に向け努力していただきたい。

(2) 小項目評価 別紙のとおり